

## 2022 年 助成金給付認定一覧

助成区分	申請者および研究機関・代表者	担当者	テーマ	講評・コメント
研究助成	東北大学 大学院工学研究科 五十嵐太郎研究室 教授 五十嵐太郎	菊地尊也	商業施設で開催された建築展覧会の史的 戦後からポストバブルまでの《ディスプレイのインフラストラクチャ》に着目して	建築ディスプレイの史的 研究で独自のフレームワークによる研究と分析を行う予定であり、独創性があり、商業施設と都市空間の研究として、有用だと考える。 研究の目的、実施方法、実施体制、使途計画等が、過去の実績を踏まえて、適正に設定されており、確実な実施が期待されるとともに、その成果にも期待したい。
研究助成	東洋大学 ライフデザイン学 研究科人間環境デザイン専攻 櫻井義夫研究室 教授 櫻井 義夫	研究助手 木村才人	アドルフ・ロースの空間展示リアルとアンリアルな表現による空間体験方法の研究(Ⅱ)	過去の実績及び2021年度の実績があり(要確認)、実現可能性は高いと判断する。また、模型とVRを併用した建築空間の提示という方法が、一般の人に対し、どれだけ有効性があるのか、その成果に期待したい。
教育普及活動助成	東京大学農学部農学資料館 教授/大学院農学生命科学研究科長・農学部長 堤 伸浩	特任教授 棚橋沙由理	地球の持続可能性に向けたローカルからグローバルまでの農学～展覧会「One Earth as Commons」の開催を目指して～	大学などにある収蔵品の新たな価値を創造し、価値を社会に発信する実践研究として評価できる。農への関心は高いので、これからの新しい農を考えていく素地になればと期待したい。
教育普及活動助成	公益財団法人東京動物園協会 井の頭自然文化園 理事長 今村保雄	学芸員 土方浦歌	朝倉文夫と北村西望 二人の関係性	2つの施設が連携して実施する展示であり、コレクションとその創作に関連した建物を活かすという社会課題に取り組むものとして評価できる。 今回の試みが、今後、記念館という施設の展示に一石を投じるものであることを期待したい。
教育普及活動助成	福岡市科学館 館長 矢原徹一	サイエンスコミュニケーター 林 千恵	福岡市科学館基本展示室内クリエイティブアワードおよびキッズクルー事業	博物館と子供の関わり方、そして、将来を担う子供たちの空間ディスプレイ分野への関心高めるプロジェクトとしての新たな試みと評価し、その成果に期待したい。 助成事業アワードとしての効果も今後の浸透度に期待が持てる。